



《ピープルファーストの活動》

〈兵庫ピープルファースト会議〉

竹代恭平

ボクらは、3月13日に福祉センターへ会議にいった。

その前に昼食を食堂「ひとやすみ」でとった（コロナ関係で外食できず）。コロナでマスクをつけなくてはならなかった。

チラシをとり、ジュースも買ってきた。

一体どんな会議をするのだろう。

4月の花見について、会議をした（コロナだから、中止）。

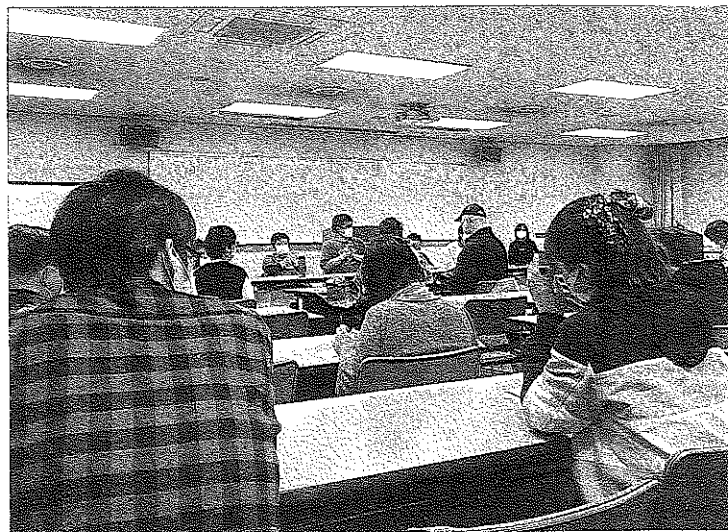
後のことをボクは、何もきいていなかった。

5月のカンパのことはきいた。

6月の全国大会はリモート電話であつた。

「AC」の映像もみた（これだけは頭にあつた。）。

ボクの方は少しおちつきがなかった。またみんなに、会えるのを楽しみにしている。



★会議の内容

①自己紹介、②全国大会の準備と報告（岸田さん・住田さん）、③4月の花見について（岸田さん）、④5月の勉強会の日程を決めましょう（桜田さん）、⑤ACジャパンのコミーシャルについて（住田さん）、⑥お話（橘さん）

グループホーム「ここから」を緊急に増築し部屋を一つ増やしました。もうすぐ、「ここから」は「歩歩」の3ヶ所のホームは16名の当事者が利用することになります。グループホームの職員の募集もしています。週に1日でも良いです、お手をお貸し下さい。

前年度、入院する人や白内障の手術をする人が続きました。白内障手術も神戸大学病院や明石市民病院に入院し、全身麻酔で受けました。術後の心配がありました。経過が順調で良かったです。

又、病院への受診する人も増え、同行や薬の管理も大変になっています。「ぶったあ」の看護師さんのアドバイスをもらいながら対応しています。

4月から新しい職員も増え、これからの「ぶったあ」の原動力になってくれるよう期待しています。2021年度も引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

中谷勇一

「ぶったあのパン・お菓子」販売ご協力に感謝！！

- | | | |
|------------|-------------------------|------------|
| ・かんぼの宿 淡路島 | ・カプチーノ | ・コーナン淡路東浦店 |
| ・ゆうらぎ（特養） | ・淡路市役所 | ・にここ |
| ・パルシェ物産館 | ・佐野デイサービス | ・ほほえみ |
| ・社協一宮支部 | ・栄光園（特養） | ・石屋小学校 |
| ・社協岩屋支部 | ・聖隷淡路病院 | ・岩屋中学校 |
| ・柴宇淡路食彩（株） | ・サナあわじ（株）
（聖隷淡路病院売店） | ・岩屋事務所 |
| ・せきれいの里 | ・あわじ花さじき | ・花の店ぶったあ |
| ・イオンサロン | | |

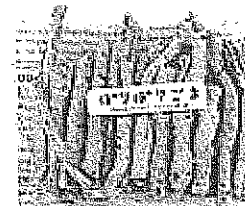
ぶったあのウェブページあります！



<http://awaji-butta.or.jp/>

いろいろ更新してます。ご覧ください。

新しいお菓子できました！



・ほりほりごま

110円（税込）
あっさりとした甘味、
ほりほりとした食感で
ごまの風味いっぱいです。
とまりません。



・コロコロラスク

110円（税込）
ぶったあの食パンで作って
います。サクッとほんのり
甘くて大好評です。

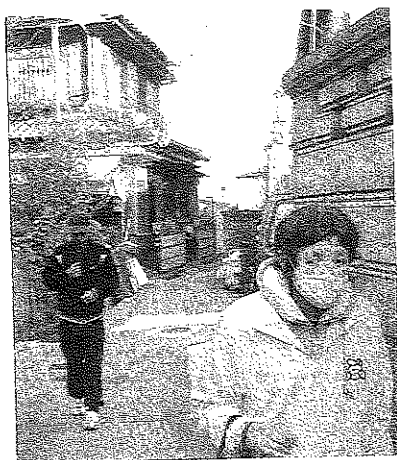
ぜひご注文ください！

＜＜避難訓練をしました＞＞



★2020年12月1日(火)
グループホーム「ここから」歩「いろは」で、消防避難総合訓練を行いました。
講師として、ハウス防火設備の担当者の方に来ていただき、出火から避難誘導までの流れを実施しアドバイスを頂きました。また、自動火災報知機の操作の説明等もしていただきました。

★2021年2月15日(月)
「障害者支援センターぶったあ」で合同消防避難総合訓練を行いました。
講師として、アイシンコンセルジュ(消防機器管理会社)から2名の担当者の方から指導を受けました。毎年行う定期避難訓練のひとつです。「行動表」により、火災発生から避難誘導まで訓練を行いました。利用者によっては避難誘導に手間どった場面もあり、今後の課題として残りました。



＜＜園芸福祉＞＞

＜園芸福祉＞

記録・赤松典嗣

毎月第二金曜日に、国営明石海峡公園にて、「園芸福祉」があります。海峡公園の職員さんや、海峡フレンスのスタッフさんが、企画・運営をしてくれています。

●3月12日(金)

ぶったあからはメンバー26名、職員7名で参加しました。

当初は、園内を散策して、「河津桜」を見に行く予定でした。当日は雨天の為、屋内棟を特別に借りてのイベントになりました。

色画用紙の台紙に、チューリップの花の形の折り紙を貼って、個々のデザインで、マスキングテープを貼ったりして、作品を制作して楽しみました。

海峡公園の職員さんによる「オカリナの演奏」も楽しみました。(聞いていて懐かしく感じる曲ばかりです。)

●4月9日(金)

ぶったあからメンバー26名、職員8名で参加しました。

集合して、「手指消毒、マスクを着用して」公園職員さんや海峡フレンスの皆さんと共に明石海峡公園内を散策しました。

チューリップをはじめ、色鮮やかな春の花がきれいに咲いていました。撮影スポットのチューリップ畑まで皆で歩きました。車椅子対応の方は、職員が押して行きました。全員で、チューリップ畑を背景に記念写真を撮りました。帰りは違うコースを歩いて、また別の花を見て楽しみました。

その後、最初に集合した屋内棟の場所まで戻り、ボランティアの女子学生2人による、「オカリナ・ギター」の「楽しく、聞き覚えのある曲の演奏」を聴きました。

最後に「4月の誕生会」を行いました。誕生日の方には、手作りのきれいな花束が贈られました。皆で



「ハッピーバースデー」を手拍子で歌い祝いました。

《海峡フレンスの皆さん、いつもありがとうございます》

人権シンポジウム2021

1月30日(土)

「障害者問題を考える兵庫県連絡会議(障問連)」の主催で行われ、感染症対策のため、みんなの家にて尼崎さん・桑名さんと職員で三人でパソコンに映し出されるシンポジウムを視聴しました。

新型コロナウイルスで、障害当事者・他の障害福祉サービス事業所・被差別部落の方々・在日朝鮮人の方々が、かなりの影響を受けていると聞きました。

ぶったあから感染者が出てしまったら、どういった対応をするべきかを考えるいい機会を与えてもらえました。



淡路島国営明石海峡公園
「淡路花博20周年記念
花みどりフェア」

ジャパンフロラ2000(淡路花博)から20周年を記念し、2021年の春と秋に「淡路花博20周年記念 花みどりフェア」が、「みなとつながる「花緑食の島」淡路」をテーマに、淡路全域を会場として開催されています。

私達「ぶったあ福祉会」は、公園内の芝生広場で自主製品であるカップケーキやクッキー等の販売をしています。5月5日までの土曜・日曜・祝日(4月29日以外)が出店日です。花に囲まれた春の公園にお越し下さい。来園されたら、ぜひお声をおかけ下さい。

※淡路島国営明石海峡公園は、「海辺の園遊空間」をコンセプトとした国営公園で、四季折々の花風景が楽しめます。

特に、春のチューリップは関西最大級として有名。大阪湾や紀淡海峡を望む立地から多彩な眺望スポットを備えるほか、大型複合遊具や広大な芝生広場、じゃぶじゃぶ池など、子どもの遊び場も充実しています。

季節を通じてさまざまなイベントがあり、春と秋の祭りではたくさんさんのアトラクションが催され、1日中楽しめます。



《NPO法人 ゆめ風基金》

ゆめ風基金

被災地の障害者の心意気に後押しされて始まった!

阪神淡路大震災での障害者たちは、ことごとく後回しにされた立場だったのですが、被災地の彼らは普段の助け合いネットワークを活用し、いち早く炊き出しを実施、寒さに震える地域の人々に「日頃の恩返し」と豚汁を配ったのでした。この心意気に後押しされて、それでは緊急時に普段から備えておくと、1995年に「ゆめ風基金」運動が発足しました。

この間に地震・噴火・豪雨・台風・・・さまざまな自然災害が起こり、「ゆめ風基金」からは海外も含め支援金を被災地の障害者・児に届けてきました。また、活動を展開する中で、「もし、阪神淡路規模の大震災が起これば、それまでの蓄えている基金をそっくりそのまま被災地の障害者に活用してもらいます」と伝えてきました。

【特定非営利活動法人ゆめ風基金
第20回定時総会】

報告 中谷秀子

3月27日(土)10時から開催されました。コロナの影響により、参加はオンラインと委任状をもって51人出席されました。今までの総会で最も多い参加人数となりました。ネット淡路島の担当として、ぶったあ福祉会はオンラインで参加しました。

2020年度の活動報告と決算、2021年度の活動計画と予算について承認されました。

寄付金が6400万円余りあったこと、その中には、遺産2100万円寄せて下さった方がいます。

被災障害者救済事業として1250万円余りが、7月の豪雨災害に対して使われました。

講演活動、ワークショップは、昨年度に比べ44件減となりました。ゆめ風基金設立25周年として計画していた神戸でのシンポジウムは、新型コロナウイルスの影響により中止になりました。

た。小中学校での授業活動は、少数ながら17件行いました。

障害者市民防災活動助成事業として、4件支援しました。

その他、ハラスメント防止規定の制定と防止委員会の設置、シングルCD「ゆめ風応援歌」の販売は1枚となりました。

定款変更では、理事が15名以内から12名以内になり、役員改選では、兵庫県の内田さんと石橋さんが新たに加わり承認されました。

●これまで届けた救援金

(2019年6月30日現在)

救援活動費総額

「1995年発足以降の39災害に」

525,966,288円

★救援金総額は

500,963,176円

★救援活動費総額は

25,113,112円

★ただいまの基金残高

232,149,425円

＜＜理事会・評議員会＞＞

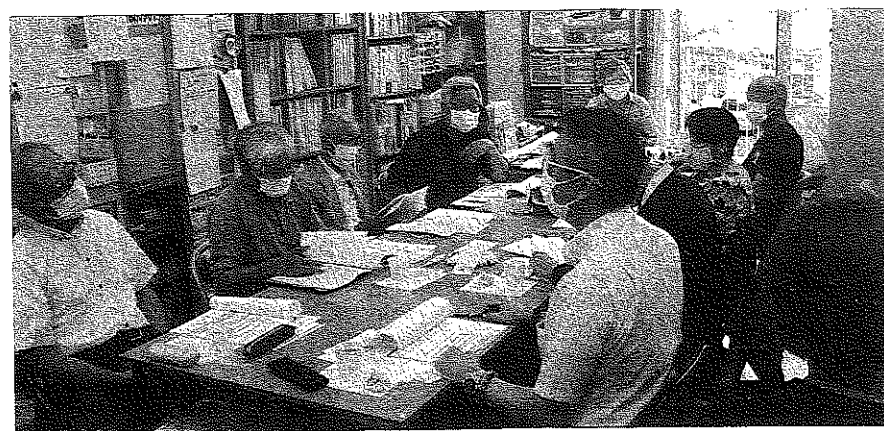
2020年度 第3回理事会

2021年3月11日(木)

★議案内容

○決議事項

- ①理事、監事の任期満了に伴う同人の再任について②・今年度補正予算と来年度当初予算について・来年度の事業計画について・監事監査の時期について③評議員の任期満了に伴う選任解任委員会の設置と交代の評議員候補の選定について④商店街「花の店」老朽化に伴う改修工事について・改修業者の選定（合い見積もりの手続き）・工事予算等概要説明⑤グループホーム「ここから」の増築工事について・増築業者の選定（合い見積もりの手続き）・工事予算等概要説明
- 報告事項
- ⑥その他の報告事項・理事議長の執行状況報告（定款第19条3項）



評議員会

3月開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により、中止となった。

＜＜障害者問題を考える兵庫県連絡会議（障問連）＞＞

【障問連とは？】

障問連は、国連により「障害者の完全参加と平等」と提唱された「国際障害者年」、1981年12月19日に結成されました。

1979年養護学校義務化に反対し、地域の普通学校入学を求める親による就学闘争が神戸、明石、淡路、尼崎・宝塚・芦屋等の阪神間各市で取り組まれ、そのうねりにより「障害者の生活と教育を創り出す会」が結成、そして1975年「不幸な子どもの生まれない運動」反対をはじめとした優生思想との闘いや、重度障害者の地域での自立生活を実現し、制度要求に取り組んできた重度脳性マヒ者当事者で組織される「兵庫青い芝の会」、そのような障害当事者、家族による障害者運動が高揚し、また中央での「障害者と労働者の連帯」が総評等により提唱され、そのような背景の下、県内の障害者団体と民主団体、労働組合が集い結成されました。

【1月30日（土）の総会に参加】

中谷秀子

神戸市勤労会館にて第40回総会が開催され、ぶったあ福祉会はオンラインで参加しました。

最初に事務所から、新型コロナウイルスにより、居宅介護を必要とする方々は、大変厳しい1年になったこと、旧優性保護法による強制不妊手術の賠償問題も進展せず、精神障害者に対する虐待や長期入院も何ら変わらず、現状はひどいままであることなどが訴えられました。

10時に野橋事務局次長の司会で始まり、石橋事務局長のあいさつの後、皿事務局次長が議長となり進行されました。

県との話し合いでは、新型コロナウイルスに感染した場合の入院や介護については、受入れの調整、密な連携を図り、柔軟なサービス提供に努めるよう市町に周知しているとの回答が、「いのちの対策室」からあったこと。

工賃減少分を助成する支援制度の創設を国に要望しているとの回答がユニバーサル推進課からあったことが報告されました。

その他、各関係機関との交渉や、活動報告がなされ、新たな取組として北須磨の活動が紹介されました。33の加盟団体の内、オンラインで活動報告された団体もありました。

その後、決算、予算及び事業計画など承認され、閉会となり、午後から「人権シンポジウム」への案内がなされました。

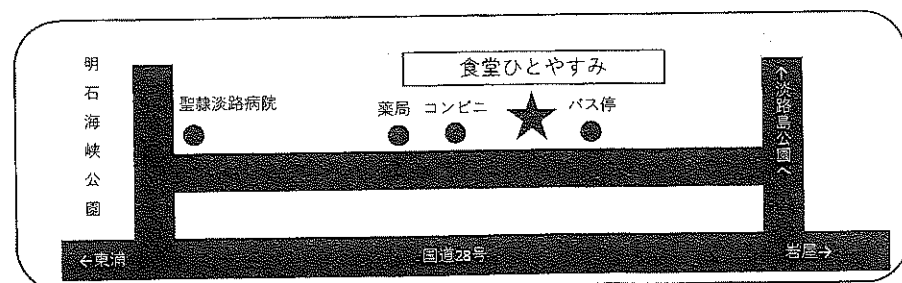
■緊急事態宣言により、国営明石海峡公園のイベントがなくなりました。公園は飲食禁止ですが入園できます。1つのウイルスがグローバル化された世界の中での広がりにも驚きますが、私達のこれまでの生活様式が通用しない、自由に動けないなんてことを経験するとは……。映画の世界では、助け合いながら危機を乗り越えてハッピーエンドになるのだが……。最前線で命をまもらんと戦っている医療関係者の方々には感謝しかありません。

食堂ひとやすみ

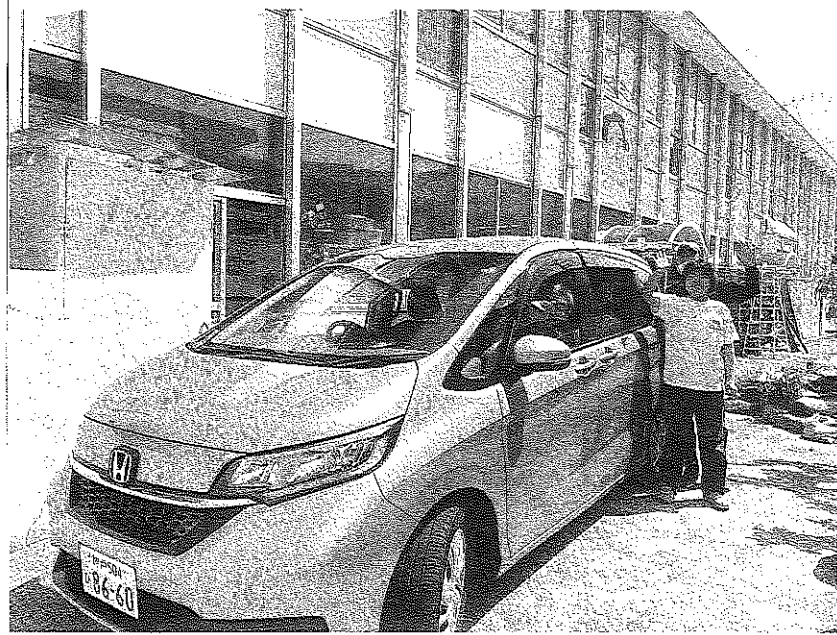
障害者総合支援法
就労継続支援B型事業



営業時間 8:30~15:30 定休日 毎週水・日曜日・祝日

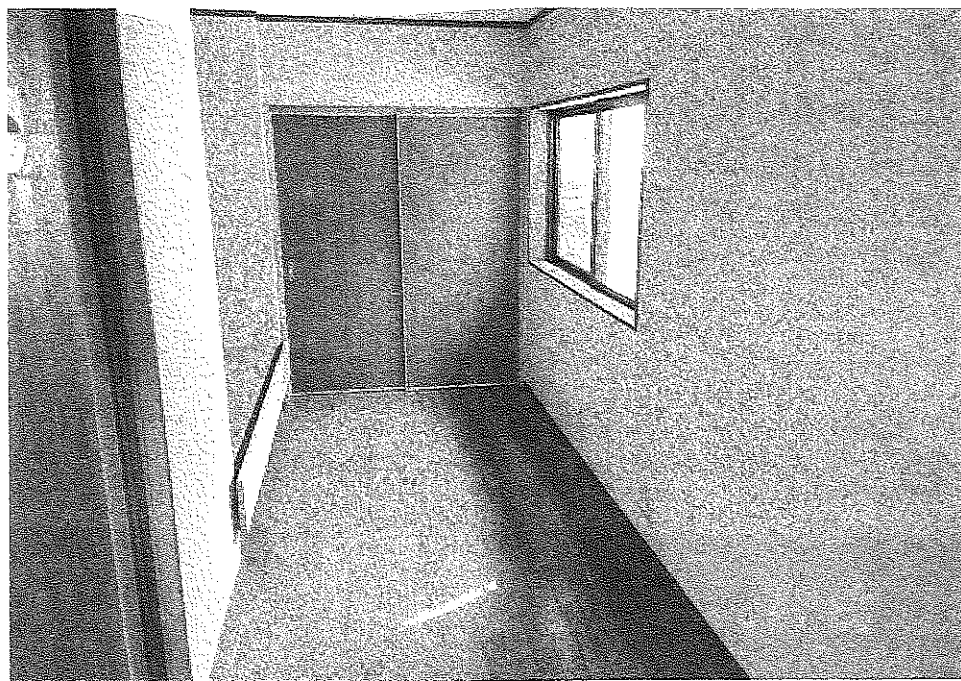


《新しい車がきました》



●ホンダ・フリード
公益財団法人神戸やまぶき財団より寄贈していただきました。
いつもありがとうございます。
利用者様の送迎に使っています。

《グループホーム「ここから」を増築しました》



グループホームを必要とする当事者の生活の場を提供するために、急遽1部屋増築しました。

《寄付ありがとうございます》

(令和3年4月15日・敬称略)

井上輝良
松田和義
加藤公朗
平田國雄
谷雅博
吉田建築設計事務所 吉田隆一
片山輝久
尼崎和美
尼崎和良
地行真司
岡田医院 岡田有美
中島治子
岩屋キリスト教会
関勝
関眞代
片山商店
伊郷真一郎
久保田まさ子
永井美和子

《ご協力ありがとうございました》

ご寄付のお願い

「ぶったあ福祉会」では、障がい者の地域生活を支援するために様々な事業を展開しています。どんな障害があろうと、働き、社会参加していく場を広げようと日々取り組んでいます。そのようなぶったあ福祉会の理念を実現するために、財政的な面でご支援いただける方を募集しています。
金額はいくらでも結構です。宜しくお願い致します。

- ◇ご寄付いただく場合には、申請書に記入が必要になります。
- ◇社会福祉法人への寄付には、税制上の優遇処置があります。
確定申告時に、寄付された領収書を提出してください。

【郵便振替】

00940-4-276683 社会福祉法人ぶったあ福祉会

【淡陽信用組合】

岩屋支店(023) 普通預金 0146388
社会福祉法人ぶったあ福祉会 理事長 中谷勇一

★お問合せ先

ぶったあ福祉会事務局 会計担当 立木
(電話番号 0799-70-6145)